

食品安全委員会の運営について（令和3年1月～令和3年3月）（案）

1. 食品安全委員会の開催

1月：802回・803回（2回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（4品目）

遺伝子組換え食品等（4品目）	・線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品） ・線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料） ・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)（食品） ・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)（飼料）
----------------	--

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（11品目）

農薬（4品目）	・クロルピクリン <u>ADIを0.001mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを0.5 mg/kg体重と設定。</u> ・シアゾファミド <u>ADIを0.17 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・ジメテナミド <u>ADIを0.051 mg/kg体重/日と設定し、ARfDを0.5 mg/kg体重と設定。</u> ・メタフルミゾン <u>ADIを0.12 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品（2品目）	・デコキネート <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の（1）に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> ・バージニアマイシン <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の（1）に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
遺伝子組換え食品等（5品目）	・EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミルバリングリシン

	「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断し、本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断した。 ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5（食品） 「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。 ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5（飼料） 「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。 ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5（食品） 「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。 ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5（飼料） 「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。
--	---

（３）その他

２月：第８０４回・８０５回（２回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（１３品目）

農薬（７品目）	・イプロジオン ・カズサホス ・クレトジム ・ピラフルフェンエチル ・フェナザキン ・フルフェノクスロン ・メトミノストロビン
動物用医薬品及び飼料添加物（１品目）	・ナイカルバジン
動物用医薬品（２品目）	・アルベンダゾール ・アルベンダゾールを有効成分とするすずき目魚類の飼料添加剤（スポチール100）

遺伝子組換え食品等（3品目）	・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品） ・ コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料） ・ pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ
----------------	--

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（１案件、６品目）

農薬（４品目）	・ キャプタン <u>ADIを0.1 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを3 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.3 mg/kg体重と設定。</u> ・ プロシミドン <u>ADIを0.035 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを0.3 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.035 mg/kg体重と設定。</u> ・ マンジプロパミド <u>ADIを0.05 mg/kg体重/日、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・ メタミホップ <u>ADIを0.0042 mg/kg体重/日、ARfDを1.2 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（１品目）	・ トロメタミンジノプロストを有効成分とする牛の注射剤（動物用プロナルゴンEZ注射液） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u>
薬剤耐性菌（１品目）	・ 家畜に使用する硫酸コリスチン <u>動物用医薬品として牛及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、牛及び豚由来の畜産食品を介してヒトがハザードにばく露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えた。</u>
プリオン（１案件）	・ スペインから輸入される牛肉及び牛の内臓 <u>月齢制限を「条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u>

（３）その他

- ・ 食品安全委員会の運営について（令和２年１０月～令和２年１２月）を報告
- ・ 令和２元年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価に関する審議の結果、
「*Unicapsula seriola*」は評価に必要と考えられる科学的知見が不足していることから「自ら評価」案件として取り上げないが、引き続き科学的知見の集積の動向を注視する」旨決定

- ・令和３年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画を決定

３月：第８０６回・８０７回・８０８回・８０９回・８１０回（５回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（１案件、７品目）

器具・容器包装（１案件）	・牛乳、特別牛乳、殺菌山羊乳、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、無脂肪牛乳、加工乳及びクリームに用いられる容器包装の規格の一部改正
農薬（３品目）	・オキサチアピプロリン ・ピリベンカルブ ・ベンチアバリカルブイソプロピル
農薬及び動物用医薬品（１品目）	・スピノサド
遺伝子組換え食品等（３品目）	・除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3 ・JPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ ・JPAN006株を利用して生産されたリパーゼ

（２）食品健康影響評価の結果通知案件等（２案件、９品目）

器具・容器包装（１案件）	・牛乳、特別牛乳、殺菌山羊乳、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、無脂肪牛乳、加工乳及びクリームに用いられる容器包装の規格の一部改正（「程度明らか」案件） <u>食品安全基本法第１１条第１項第２号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当。</u>
農薬（４品目）	・ピリオフェノン <u>ADIを0.091 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・フルチアニル <u>ADIを2.4 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・マンドエストロビン <u>ADIを0.19 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・セダキサン <u>ADIを0.11 mg/kg体重/日と設定し、ARfDを0.3 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（２品目）	・イソオイゲノール <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の考え方の３の（１）に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>

	・トリメトプリム <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の考え方の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
動物用医薬品・飼料添加物（1品目）	・モランテル・ピランテル <u>グループADIを0.012 mg/kg 体重/日と設定。</u>
飼料添加物（1品目）	・カンタキサンチン <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の考え方の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
遺伝子組換え食品等（1品目）	・<i>Komagataella pastoris</i> 132株を利用して生産されたフィターゼ <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に準じて評価する必要はなく、当該飼料添加物を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。</u>
菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ（1案件）	・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく調製粉乳の審査事項の設定 <u>「厚生労働省が検討している「菌末を含む調製粉乳に関する審査事項案」については、</u> ① <u>FAO及びWHOが2002年に作成したガイドラインを参考にして作成されており、現時点で当該ガイドラインの科学的妥当性を否定する知見は確認されていないこと、</u> ② <u>諸外国において、特定の菌株が添加された乳児用調製粉乳の摂取による明らかな健康被害は報告されていないことを考慮した結果、審査事項案について不適切と判断するには至らなかった。</u> <u>しかしながら、菌末が添加された乳児用調製粉乳の安全性を高めるため、厚生労働省において、</u> ① <u>菌末を添加した調製粉乳を用いた乳児への摂取試験の実施に関する事項について、安全性を確認するための具体的なエンドポイントを追加すること</u> ② <u>調乳の影響に関する事項について、調乳後の添加菌株及びサルモネラ属菌、<i>Cronobacter sakazakii</i>（クロノバクター・サカザキ）等病原微生物の菌数に関するデータの提出を追加すること</u> <u>を検討する必要があると考えられた。</u> <u>また、厚生労働省は、菌末が添加された乳児用調製粉乳の</u>

安全性に関する国際機関や諸外国の今後の動向に注視し、
必要に応じて、審査事項の見直しを行う必要がある。」

(3) その他

- ・「令和2年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果」及び「令和3年度食品健康影響評価技術研究の新規対象課題」を決定
- ・「令和3年度食品安全確保総合調査課題」を決定
- ・「企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について」を報告
- ・「食品健康影響評価において(Q)SARを活用して変異原性を評価する場合の手引き」を報告
- ・「食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について（第25回：令和2年9月30日時点）」を報告
- ・「ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループの設置について」を決定
- ・令和2年度食品安全モニターの依頼について事務局から説明
- ・令和3年度食品安全委員会運営計画を決定

2. 専門調査会等の運営（全31回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・令和2年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について ・令和3年度食品安全委員会運営計画について ・食品安全委員会緊急時対応訓練結果及び令和3年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画について ・その他
添加物	2回	・添加物に関する食品健康影響評価指針について
農薬第一	2回	・残留農薬の食品健康影響評価における毒性試験での有害影響の判断に関する考え方について ・残留農薬の食品健康影響評価における公表文献の取扱いについて
農薬第二	3回	・ユニコナゾールP ・ベンタゾン
農薬第三	2回	・セダキサシ ・フェナリモル
農薬第四	2回	・MCPA ・ホラムスルフロン
農薬第五	1回	・プロパルギット
動物用医薬品	2回	・シフルトリン ・ルバベグロン ・スポチール100 ・アルベンダゾール ・ルバベグロン
微生物・ウイルス	1回	・カンピロバクターのリスクプロファイル
プリオン	1回	・国産牛肉のSRM範囲見直し
遺伝子組換え食品等	3回	・線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品・

		飼料) ・Morph TG#626株を利用して生産された α -グルコシダーゼ ・JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ ・JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ ・JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ ・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP202216) (食品・飼料) ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP23211) (食品・飼料)) ・pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ
肥料・飼料等	4回	・ハロフジノン ・マデュラマイシン ・ロベニジン ・飼料添加物指針改正 ・安息香酸 ・バシトラシン ・ムラミダーゼ ・ナイカルバジン
薬剤耐性菌WG	2回	・亜鉛バシトラシン ・スルフォンアミド系合成抗菌剤 ・評価指針改訂の検討について
アレルギーを含む食品に関するWG	3回	・アレルギーを含む食品に関する食品健康影響評価について
鉛WG	2回	・鉛の食品健康影響評価について

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会 (全3回)

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体	主な対象者
3/1 ～ 3/7	動画配信	食品に関するリスクコミュニケーション 「共に考える 食品中の放射性物質」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省	一般消費者
3/18	web開催	報道関係者向けオンラインセミナー		報道関係者
3/24	web会議	地方共催意見交換会 (名古屋市) 「食の安全性に関する意見交換会「カンピロバクター食中毒を防ごう！」	名古屋市	大学生 (金城学院大学)

(2) 講師派遣 (全5回、うち委員2回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
1/22	web開催	1. リスクコミュニケーション講師	岩手県	1. 県保健所職

		育成講座 (テーマ：リスクコミュニケーション) 2. 食の安全安心を考える講座 (テーマ：食の安全情報) *堀口委員		員 2. 一般消費者等
2/12	web開催	食品の安全性に関する講習会 (テーマ：食品安全を守る仕組みと食品添加物の安全性について)	仙台市	一般消費者
2/19	web開催	北海道アグリ・フードフォーラム2021 (テーマ：食品安全確保に向けた食品安全委員会の役割)	一般社団法人日本能率協会	一般消費者
2/25	web開催	第12回コープデリ連合会品質保証研究会 (テーマ：食品安全委員会のリスク評価の動向)	コープデリ生活協同組合連合会	流通事業者等
2/25	web開催	第2回食品に関するリスクコミュニケーション公開セミナー (テーマ：残留農薬等の安全性評価) *吉田緑委員	公益社団法人日本食品衛生協会	一般消費者及び食品事業者等

※ 講座及び訪問学習なし。

4. 情報提供

Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 1月：18 記事

閲覧数 (Facebook) 約28,000件/月、(ブログ) 約2,300件/月

投稿日	記事内容
2	岐阜県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
6	【新年のご挨拶】
8	【Webサイトご活用ください】新型コロナウイルス感染症と食品について 【食品安全委員会 今週の公表事項 1/4～1/8】
12	【引き続き「〇〇食品が新型コロナウイルスに効く」などの情報に注意！】

13	鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
15	【キッズボックス】栄養素をバランスよく摂るために（2021年1月号）
	【食品安全委員会 今週の公表事項 1/12～1/15】
18	【シリーズ：カフェインを知ろう】頑張りたい時のカフェイン摂りすぎに気をつけて ～受験生とその保護者の皆様へ～
20	食品安全モニターの意識調査①】ノロウイルスによる食中毒
22	【食品安全委員会 今週の公表事項 1/18～1/22】
	【生活の中の食品安全】食品添加物のはなし1 ～食品添加物とは～
	【生活の中の食品安全】食品添加物のはなし2 ～安全性の評価～
23	富山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
25	【食品安全モニター募集中。締め切り迫る！】
27	【食品安全モニターの意識調査②】生食用カキについて
29	【編集後記（睦月）】食品安全モニターの意識調査③：Food Safety掲載論文の紹介
	【食品安全委員会 今週の公表事項 1/25～1/29】

■ 2月：17記事

閲覧数（Facebook）約25,000件/月、（ブログ）約2,600件/月

投稿日	記事内容
1	【シリーズ：カフェインを知ろう】様々な飲み物とカフェイン
2	茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
5	【お知らせ】令和2年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します（3月3日14:00～web開催、申込締め切り2月19日17:00）
	【食品安全委員会 今週の公表事項 2/1～2/5】
8	【シリーズ：カフェインを知ろう】カフェイン摂取量の目安を知ろう
9	【令和2年度食品健康影響評価技術研究成果発表会】「合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における溶出試験法に関する研究」の発表について

10	食品の安全性に関する情報をどう集め、読むのか？ ～その1：情報の読み方～
12	【食品安全委員会 今週の公表事項 2/8～2/12】
17	宅配およびテイクアウト利用時の「食中毒予防」
	食品の安全性に関する情報をどう集め、読むのか？ ～その2：情報の集め方～
19	【令和2年度食品健康影響評価技術研究成果発表会】「国内で多発するカンピロバクター食中毒の定量的リスク分析に関する研究」の発表について
	【食品安全委員会 今週の公表事項 2/15～2/19】
22	【生活の中の食品安全】食品の安全性についての考え方 その1
24	【生活の中の食品安全】食品の安全性についての考え方 その2
26	【食品安全委員会 今週の公表事項 2/22～2/26】
	「ウエルシュ菌による集団食中毒が発生しました」
	【編集後記（如月）】授業や研修に講師を派遣しています。ぜひご相談ください！

■ 3月：16記事

閲覧数（Facebook）約21,000件/月、（ブログ）約2,100件/月

投稿日	記事内容
2	【キッズボックス】食品の安全を守るしくみ（2021年2月号）
5	【食品安全委員会 今週の公表事項 3/1～3/5】
11	報道関係者向けオンラインセミナー開催と参加者募集のお知らせ（3月18日開催）
12	【食品安全委員会 今週の公表事項 3/8～3/12】
14	栃木県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
15	【いわゆる「健康食品」について】
18	用語集に「疫学」の章ができました！
19	【食品安全委員会 今週の公表事項 3/15～3/19】
22	【いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ①】「食品」でも安全とは限りません。

25	令和３年度調査事業「特定の新規食品の安全性評価手法に関する調査」の公募について（期間：令和3年4月21日（水）12:00）
26	【食品安全委員会 今週の公表事項 3/22～3/26】
29	【いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ②】「食品」だからたくさん摂っても大丈夫と考えてはいけません
30	【キッズボックス】食品の安全を守るしくみ その２（2021年3月号）
	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 9, No.1を公開しました。
	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 9, Number 1 has just been published.
31	【編集後記：弥生】「科学の目で見える食品安全」を更新しました。

食品健康影響評価の審議状況

(令和3年4月1日現在)

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和2年度 分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和2年 度分	評価終了 注5)
添加物	296	1	1		295	8	
栄養成分添加物	2		1		1		
香料	7				7		
農薬	1283	41	160	3	1120	39	
うちポジティブリスト関係	543	1	139		404	5	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		19		40	1	
動物用医薬品	632	7	26		606	15	2
うちポジティブリスト関係	137		23		114	10	
器具・容器包装	22	1	3		19	1	
汚染物質等	67		1		66		2
うち清涼飲料水	52		1		51		
微生物・ウイルス	21	1			21	2	2
プリオン	67	2	8		59	4	14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	347	30	26	9	312	10	
新開発食品	91				91	1	3
肥料・飼料等	310	7	48	3	259	16	
うちポジティブリスト関係	143		39	3	101	9	
薬剤耐性菌	68		9	1	58	2	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
その他(指定成分、アルミニウム)	2				2		1
合計	3228	90	283	16	2929	98	30

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。なお、現在審議中の案件は「食品及び器具・容器包装中の鉛」、「アレルギーを含む食品」の2案件である。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2021年4月1日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/7/3	厚	清涼飲料水の規格基準を改正すること（汚染物質1物質）	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（スルファキノキサリン及びスルフォンアミド系合成抗菌剤。水生動物に使用するテトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	4
2004/10/29	農	動物用医薬品 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[肥][耐]、動物用医薬品 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]	3
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミシンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 アンピシリンナトリウム[肥]、スルファメトキサゾール[肥]、	2
2006/7/18	厚	動物用医薬品 アンピシリン☆[肥]、スルファメトキサゾール☆[肥]	2
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆、	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/15	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/1/15	厚	動物用医薬品 クマホス☆	1
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン、スルフイソゾール	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品 イソシンコメロン酸ニプロピル☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール☆[肥]、スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	3
2007/5/22	厚	動物用医薬品 フェノキシメチルペニシリン☆[肥]	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/8/28	厚	動物用医薬品 ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部>☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン、ピリデート、フッ化スルフリル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装 カドミウム、鉛	2
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	動物用医薬品 クロキサシリン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、クエン酸☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	11

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/3/23	厚	農薬 ベンタゾン☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/6/22	農	農薬 ベンタゾン☆〈飼〉	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆＜一部〈飼〉＞	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	厚	動物用医薬品 セフロキシム☆[肥]	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルフアン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/3/25	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/6/10	厚	農薬 フェナリモル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/7/18	厚	動物用医薬品 バシトラシン☆[肥]	1
2012/8/21	農	農薬 シフルトリン☆〈飼〉	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/8/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン☆	2
2012/8/21	厚	動物用医薬品 カルバドックス☆[肥]	1
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、イプロジオン☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	13
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、パラコート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	4
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、パラコート☆、フルキンコナゾール☆	7
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニュロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2013/12/10	厚	動物用医薬品 ナイカルバジン☆[肥]	1
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/1/10	厚	添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/5/22	厚	遺伝子組換え食品等 JPA003株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2019/9/5	厚	農薬 ベンタゾン	1
2019/9/5	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2019/12/11	農	飼料添加物 ムラミダーゼ■	1
2020/1/28	厚	遺伝子組換え食品等 Morph TG#626株を利用して生産されたα-グルコシダーゼ■	1
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 塩化ジデシルジメチルアンモニウム☆、オルトジクロロベンゼン☆、グリカルピラミド☆、クロステボル☆、ジブチルサクシネート☆、チオプロニン☆、トリブロムサラン☆、ニタルソン☆、ノルジェストメット☆、ヒドロコルチゾン☆、マホブラジン☆	11
2020/3/17	厚	飼料添加物 オルメトプリム☆、ジアベリジン☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダブソン☆、ニフルスチレン酸ナトリウム☆、ピリメタミン☆、ロキササルソン☆、アンブロリウム☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆、エンラマイシン☆、	13
2020/3/31	農	遺伝子組換え食品等 JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ■、（飼料）■	1
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/5/26	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2020/7/13	厚	遺伝子組換え食品等 LFS 株を利用して生産されたリパーゼ■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2020/7/28	厚	農薬 ポリオキシシン（ポリオキシシンD亜鉛塩及びポリオキシシン複合体）■ ☆	2
2020/9/24	厚	Raα3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/9/24	厚	RG-V1株を利用して生産されたL-バリン■	1
2020/10/5	農	除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（飼料）■	1
2020/10/16	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■、	1
2020/10/19	厚	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2020/10/19	厚	肥料・飼料等 安息香酸■	1
2020/10/20	農	肥料・飼料等 安息香酸■	1
2020/11/11	厚	農薬 MCPA■	1
2020/11/11	厚	動物用医薬品 ルバベグロン■	1
2020/11/20	厚	遺伝子組換え食品等 MAM株を利用して生産されたα-アミラーゼ■、DSM32805株を利用して生産されたキモシン■	2
2020/12/14	厚	農薬 プロパルギット■、ホラムスルフロン■	2
2021/1/7	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（食品）■	2
2021/1/12	農	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（飼料）■	2
2021/2/9	厚	農薬 イプロジオン■、カズサホス■、クレトジム■、ピラフルフェンエチル■、フェナザキン■、フルフェノクスロン■、メトミノストロビン■	7
2021/2/9	厚	動物用医薬品・飼料添加物 ナイカルバジン■	1
2021/2/9	厚	動物用医薬品 アルベンダゾール■、アルベンダゾールを有効成分とするすずき目魚類の飼料添加剤（スポチール100）■	2
2021/2/4	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/2/9	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■、pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	2
2021/3/18	厚	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3■、JPAN006株を利用して生産されたリパーゼ■、JPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	3
2021/3/22	厚	農薬 オキサチアピプロリン■、ピリベンカルブ■、ベンチアバリカルブイソプロピル■	3
2021/3/22	厚	農薬及び動物用医薬品 スピノサド■	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間		
2021/2/17～2021/3/18	農薬 ベンディメタリン■	2
2021/3/3～2021/4/1	遺伝子組換え食品等 JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/3/3～2021/4/1	遺伝子組換え食品等 JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/3/3～2021/4/1	遺伝子組換え食品等 JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/3/3～2021/4/1	遺伝子組換え食品等 JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/2/17～2021/3/18	遺伝子組換え食品等 JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/3/3～2021/4/1	薬剤耐性菌 亜鉛バシトラシン※	1
2021/3/10～2021/4/8	肥料・飼料 ハロフジノン☆	1
2021/3/10～2021/4/8	肥料・飼料 マデュラマイシン☆	1
2021/3/10～2021/4/8	肥料・飼料 ロベニジン☆	1
2021/3/17～2021/4/15	農薬 ウニコナゾールP■	1
2021/3/24～2021/4/22	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統■	1
2021/3/24～2021/4/22	遺伝子組換え食品等 BML780 MDT06-221株を利用して生産された α -アミラーゼ■	1
2021/3/31～2021/4/29	遺伝子組換え食品等 JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	1
2021/3/31～2021/4/29	遺伝子組換え食品等 JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ■	1

（注）

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和２年度）

通知日	通知先	食 品 健 康 影 響 評 価 の 対 象	
2020/4/21	厚	農薬 ミクロブタニル■	1
2020/5/19	農	飼料添加物 サリノマイシンナトリウムの基準及び規格の改正	1
2020/5/19	農	薬剤耐性菌 家畜に使用するビコザマイシン（飼料添加物、動物用医薬品）※	2
2020/6/16	厚	添加物 炭酸カルシウム	1
2020/6/16	厚 農	農薬 フェンプロパトリン■☆〈飼〉☆、ピメトロジン、フェンヘキサミド■	5
2020/6/16	厚	動物用医薬品 チルジピロシン■	1
2020/6/16	厚	遺伝子組換え食品等 Rhodobacter sphaeroides 168株を利用して製造された香料 バレンセン■、JS1252株を利用して生産されたエキソマルトテトラオヒドロラーゼ ■	2
2020/8/4	厚	農薬 シフルメトフェン■	1
2020/8/4	厚	農薬及び動物用医薬品 デルタメトリン及びトラロメトリン	1
2020/8/18	厚	添加物 炭酸カルシウム	1
2020/8/18	厚	添加物 メタ酒石酸	1
2020/8/18	厚	添加物 L-酒石酸カリウム	1
2020/8/18	厚	動物用医薬品 酢酸トレンボロン☆	1
2020/9/1	厚	農薬 エタボキサム■	1
2020/9/1	厚	農薬 チオキサザフェン■	1
2020/9/1	厚	農薬 フェンブコナゾール	1
2020/9/1	厚	農薬 プロクロラズ☆	2
2020/9/1	厚	農薬 1-メチルシクロプロペン■	1
2020/9/1	厚	動物用医薬品 ジクロロイソシアヌル酸☆	1
2020/9/1	農	飼料添加物 Bacillus licheniformis JPBL001株が産生するアルカリ性プロテアー ゼを原体とする飼料添加物■	1
2020/9/1	消	新開発食品 トク牛サラシアプレミアム■	1
2020/9/15	厚	添加物 DL-酒石酸カリウム	1
2020/9/15	厚	農薬 チアジニル	1
2020/9/15	厚	農薬 ベンゾビンジフルピル■	1
2020/9/29	厚	農薬 スピネトラム■	1
2020/9/29	厚	農薬 バリダマイシン■☆	2
2020/9/29	厚	飼料添加物 ジブチルヒドロキシトルエン☆	2
2020/9/29	農	普通肥料の公定規格の改正	1
2020/10/13	厚	農薬 フェンキノトリオン■、フルオキサストロビン■	2
2020/10/20	厚	農薬 チエンカルバゾンメチル■	1
2020/10/20	厚 農	動物用医薬品 オクスフェンダゾール、フェバンテル及びフェンベンダ ゾール■、フェバンテルを有効成分とするふぐ目魚類及びすずき目魚類の 寄生虫駆除剤（マリンバンテル）◎、グレプトフェロン及びトルトラズリ ルを有効成分とする豚の注射剤（バイコックス アイアン注射液）■	2
2020/10/27	厚	動物用医薬品 オイゲノール☆、オキシクロザニド☆、クロルヘキシジン ☆	3
2020/10/27	厚	微生物・ウイルス 食品衛生法第１３条第１項の規定に基づく清涼飲料水 の規格基準の改正	1
2020/10/27	農	動物用医薬品 鶏伝染性ファブリキウス嚢病・マレック病（鶏伝染性ファ ブリキウス嚢病ウイルス由来VP2遺伝子導入七面鳥ヘルペスウイルス） 凍結生ワクチン（バキシテックHVT+IBD）■	1
2020/10/27	厚	農薬 カスガマイシン■	1
2020/11/17	厚	添加物 キチングルカン	1
2020/11/24	厚	農薬 トルフェンピラド■	1
2020/11/24	厚	動物用医薬品 酢酸イソ吉草酸タイロシン☆、ナフシリン☆、メシリナム ☆	3
2020/12/8	厚	添加物 亜硫酸水素アンモニウム水、ポリビニルイミダゾールーポリビニ ルピロリドン共重合体	2

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和２年度）

通知日	通知先	食 品 健 康 影 響 評 価 の 対 象	
2020/12/8	厚	動物用医薬品 イソメタミジウム☆	1
2020/12/8	厚	動物用医薬品 ニトロキシニル☆、メンブトン☆	2
2020/12/15	厚	農薬 フラザスルフロン☆、ホスチアゼート■〈一部☆〉	3
2020/12/15	農	動物用医薬品 フルララネルを有効成分とする鶏の飲水添加剤(エグゾルト)■	1
2020/12/15	厚	プリオン オーストリアから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※、デンマークから輸入される牛肉及び牛の内臓※、フィンランドから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	3
2020/12/22	厚	動物用医薬品 ゼラノール☆	1
2020/12/22	厚	遺伝子組換え食品等 CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ■、ZGL株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ■	2
2021/1/12	厚	農薬 シアゾファミド■、ジメテナミド■、メタフルミゾン■、クロルピクリン■	4
2021/1/19	農	動物用医薬品 デコキネート[肥]☆、バージニアマイシン[肥]☆	2
2021/1/19	農	遺伝子組換え食品等 ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモ SPS-00X17-5（飼料）■、ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5（飼料）■	2
2021/1/19	厚	遺伝子組換え食品等 ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモ SPS-00X17-5（食品）■、ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5（食品）■、EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミルバリングリシン■	3
2021/2/2	厚	スペインから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓について※	1
2021/2/16	厚	農薬 キャプタン■、プロシミドン■、マンジプロパミド■、メタミホップ■	4
2021/2/16	農	動物用医薬品 トロメタミンジノプロストを有効成分とする牛の注射剤（動物用プロナルゴンEZ注射液）■	1
2021/3/2	厚	動物用医薬品 イソオイゲノール☆、トリメトプリム[肥]☆	3
2021/3/2	厚	動物用医薬品 ピランテル☆[肥]	1
2021/3/2	厚	飼料添加物 カンタキサンチン〈一部☆〉	2
2021/3/16	厚	農薬ピリオフェノン■、フルチアニル■、マンデストロビン■、セダキサン■	4
2021/3/16	農	遺伝子組換え食品等 Komagataella pastoris 132株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2021/3/16	厚	微生物・ウイルス 乳等省令に係る調製粉乳の審査事項について（育児用ミルク）※	1
2021/3/23	厚	器具・容器包装 牛乳、特別牛乳、殺菌山羊乳、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、無脂肪牛乳、加工乳及びクリームに用いられる容器包装の規格の一部改正について	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なものの。

Ⅳ その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）